

自己評価結果等報告書

令和 5 年 2 月 27 日

1 事業所情報

事業所の名称	みらくる		
事業所番号	465003405		
事業の種別	<input type="checkbox"/>	児童発達支援	<input checked="" type="checkbox"/> 放課後等デイサービス
所在地	鹿児島県薩摩郡さつま町宮之城屋地 2 0 5 6 - 1		

2 公表状況

公表日	令和	5 年	2 月	28 日
公表方法	<input checked="" type="checkbox"/>	ホームページ	(URL	http://hiiragikai.net/)
	<input type="checkbox"/>	会報等	()
	<input type="checkbox"/>	その他	()

3 自己評価事務担当者情報

担当者名	久保 秀和
連絡先 (TEL)	0 9 9 6 - 5 3 - 3 9 0 0

※公表している自己評価表を添付すること。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表: 令和5年2月28日

事業所名 みらくる 保護者等数(児童数) 32 回収数 20 割合 62 %

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	20	0	0	0	外遊びが楽しいみたいで体を動かしてきてくれるので助かります。	
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	16	3	0	1	職員の人数がもっと確保できれば有難いと思います。	児童の安全確保を行いながら人員配置が出来るように努めます。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	18	0	0	2		
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	19	1	0	0		一人一人の特性を理解して、より良い支援を計画できるようにしていきます。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	18	0	0	2	今日はどこに行った、何をしたら軽くていいので職員さんの方から教えてほしい。	色々な経験や大権が出来るように工夫します。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	6	6	2	6		感染対策を行いながら、実施できるように努力します。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	18	0	1	1		契約や重要事項の丁寧な説明に勤めます。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	17	2	0	1	お迎えの時など色々様子を教えてもらえるのでありがたいです。	保護者との連携を日頃からとれるようにしていきます。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	16	4	0	0		家庭や事業所で支援方法の共有を図ります。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	9	6	2	2		保護者同士の交流できる機会を増やしていきたいです。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	15	2	0	3		相談・苦情に対して迅速・丁寧な説明に勤めます。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	18	1	0	1		
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	20	0	0	0		安心メール等の活用が増やせるようにしていきます。
14 個人情報に十分注意しているか	18	1	0	1			
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	15	0	1	4		マニュアル掲示や説明を確実に実施していきます。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	12	2	1	5		訓練等の状況の説明も実施していきます。
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	17	2	0	1	とても楽しいみたいです。とても好きです！	みらくるの活動や体験を通して、多くの事を吸収できる場にしていきたいと思えます。
	18 事業所の支援に満足しているか	20	0	0	0		

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和5年2月28日

事業所名 みらくる

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7	0	グラウンドもあり、室内・外の場所で活動出来るようにしている。	新型コロナウイルス感染症もあり、庭での遊びに誘導するなど、密集しないようにしている。
	2 職員の配置数は適切である	7	0	死角をなくし、安全確保が出来るように配置している。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	7	0	バリアフリー対応になっている。	肢体不自由の方の更衣場所等を確保できるようにする。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	1	会議は良くしているために改善が必要な事があれば話を行っている。	全体での周知や話し合いの場が定期的に来るようにする。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	0	年1回のアンケートと意見箱設置を実施	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	0		ホームページでの公表を実施
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	7		地域交流や実習生受入れ等を行い、開かれた施設づくりを行いたい。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	0	近隣事業所と意見交換や研修を実施	地域の研修会には積極的に参加していきたい。オンライン等を活用して研修を実施する。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6	1		全職員が、一人一人の特性を把握できるように周知徹底に取り組む。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	3		個々の状況の変化に応じてアセスメントを実施できるようにする。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	7	0	会議にて活動立案や支援検討を実施	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	0	四季に応じた活動ができるようにしている	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7	0	外部からの講話や公共施設の見学等も実施している。買い物、外出、調理など計画して実施している	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7	0	児童の特性や状況を判断し、計画を作成している。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	3	役割確認を実施している。	細かい部分での引継ぎ等が確実に出来るように工夫する。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	2	日誌を、記入の際にその日にあった気になることなどは、話を行っている。	情報共有が必要な時は、迅速に対応出来るようにしていく。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	0	記録AI等の活用を行っている。	記録の分析等が出来るようにしていきたい。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7	0	定期的にモニタリングを実施して計画見直しを行っている。	
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	7	0			
20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7	0			
21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7	0	時間割や月間の行事予定をいただいでおり、その都度電話確認を行っている。		

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0	7	該当者なし。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	7	0	相談支援事業所から情報をいただいている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	7	0	相談支援事業所から情報をいただいている。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	2		療育等支援事業等をりようして、専門職からの助言等を参考に支援していきたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	7		感染症対策を行いながら、実施できるように努力する。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	5	2	子供部会等に参加している	部会の情報を職員で共有できるようにする。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	0	送迎時に話せる機会を作っている。	児童の良い部分や改善点など保護者と共有して信頼関係が築けるようにする。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	0	7		家庭や事業所での支援方法を共有して統一した支援が出来るように努める。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	0		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	0		保護者の話に寄り添いながら対応できるように努める。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	7	0		保護者同士の連携が出来る活動を計画できるように努める。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6	1	苦情、相談は全職員で共有して、改善を図れるようにしている	報告書の提出を行い共有できるようにする。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	0	定期的にお便りを発行している。	掲示板やメール等を活用して情報発信が出来るようにする。
	35	個人情報に十分注意している	7	0	その都度、保護者の確認を行っている。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	0	児童には絵や文字を交えて分かりやすく支援している。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	7		地域の方々との交流を企画できるように努める。地域の行事等にも参加できるようにする。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7	0	掲示板で周知している。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	0	消防署立ち合いで訓練を行っている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	0	研修会を実施。	権利擁護に関する研修を継続していく。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7	0	法人の身体拘束委員会に事業所から1名参加している。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7	0	該当なし	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	0	報告書作成し共有している。	